

2017年度（平成29年度）

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、日常のコミュニケーションを大切にします。
- 3 私たちは、報告・連絡・相談を徹底します。

福山市立川口小学校

作成責任者 校長 池田 正道

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員どうしのつながりが強いがゆえに、言うべきことが言えてないところがある。</li> <li>○自分に対する厳しさが薄くなり、業務改善等の確認したことへの取組みが徹底するまで至っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなで確認したことは、教職員が同じ方向で実行する。</li> <li>○個人情報等の取扱いのルールを徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○徹底すべきことについて、学年主任会や学年会などを通じて確認するとともに、文書や掲示物などで絶えず意識できるようにする。</li> <li>○管理職への報告・連絡・相談を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修の中でチェックリスト等を活用し、自分自身の言動を振り返る。</li> </ul>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職・主任・主事に頼りすぎるところがある。</li> <li>○職員の人数が多いため、コミュニケーションをとる人に偏りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師としての力量をつける。（生徒指導力・児童理解力・授業力など）</li> <li>○教職員同士のコミュニケーションを密にし、組織として報告・連絡・相談を確実にを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しいことへチャレンジするとともに、それを支援する体制をつくる。</li> <li>○学年会や三部会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○学年間の連携を密にする。（当たり前のことを当たり前にする。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に2回以上、川口小SAMITTで情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>S：セクシャルハラスメント</li> <li>A：アルコール（飲酒運転）</li> <li>M：マネー（公金管理）</li> <li>I：インフォメーション（情報管理）</li> <li>T：トラフィックアクシデント（交通事故）</li> <li>T：体罰</li> </ul>
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知が、児童・保護者に十分にできているとは言えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について、ホームページや通信等で知らせ、児童・保護者が相談しやすい体制をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ、学校だより、校舎内全ての教室へのポスターの掲示等、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について児童・保護者に周知していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学期に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施し、状況を把握する。</li> </ul>